

今回のPSつうしんでは、発電所の出来事をタイムリーにお知らせしたり、発電所の視察対応などを行っている「広報課」を紹介いたします。東通原子力発電所の各課紹介は、今回で最終回となります。

私たち広報課は、報道機関や自治体の皆さまをはじめ、地域のさまざまなお客さまと東北電力とのコミュニケーション推進役として日々頑張っています。課長以下8名(うち青森県出身者は4名)と小さな課ですが、課員一同、正確かつ迅速に、そして誰にでもわかりやすい情報発信を心がけています。

具体的には、発電所の運転に関する情報や各種行事の開催情報について、報道機関を通じて地域のお客さまに広くお知らせする広報活動や、発電所員が東通村にお住まいの皆さまのお宅を訪問し、当社に対するご意見・ご要望をお聞かせいただく広聴活動も行っています。



さまざまなイベントの企画・運営も行います
(昨年10月に実施した陸上競技教室の様子)



東通村の皆さんに、発電所の動きが見えるような情報発信を行っています。

広報課

広報課長 及川 芳樹



昨年の7月から東通勤務となり、季節ごとに表情を変える豊かな自然と、美味しい海や山の幸を楽しんでいます。わかりやすい情報と地域の魅力の発信に努め、皆さんとともにある発電所を目指します。

どうぞよろしくお願ひいたします。

また、国や自治体等の発電所視察の対応を行ったり、広報誌『しあさい』や『PSつうしん』の作成、さらに次世代層(小・中学校)へのスポーツ・文化支援活動の担当なども行っています。

私たちはこれからも、発電所の情報を積極的に公開し、地域の皆さんに安心をお届けするとともに、発電所を身近に感じてもらえるよう努力してまいります。

報道担当 笹村 牧弘(青森市出身)



『地域のために。今までも、これからも』をモットーに楽しみながら仕事をしています。東通村の良さが再発見できる広報誌『しあさい』、かわいい子供たちがいっぱい載っている発電所オリジナルカレンダーもよろしくお願ひします。

視察担当 佐藤 学(弘前市出身)



いつも『PSつうしん』をお読みいただきありがとうございます。『PSつうしん33号』から今回の50号まで作成を担当してきました。これからも東通村の皆さんに役立つ情報等を、タイムリーにお伝えできるよう頑張ります。

発電所トピックス おかげさまで『PSつうしん』発行50回を迎えることができました!

『PSつうしん』は発電所の状況や発電所員の活動などを東通村の方々に広く紹介する情報誌として、発電所の営業運転開始後の平成18年2月5日に創刊しました。

創刊以来、安全・安定運転に向けた取り組みをお知らせするとともに、東通村で行ったイベントや次世代層支援活動をお伝えするなど、皆さんに発電所を身近に感じてもらえるように作成してきました。

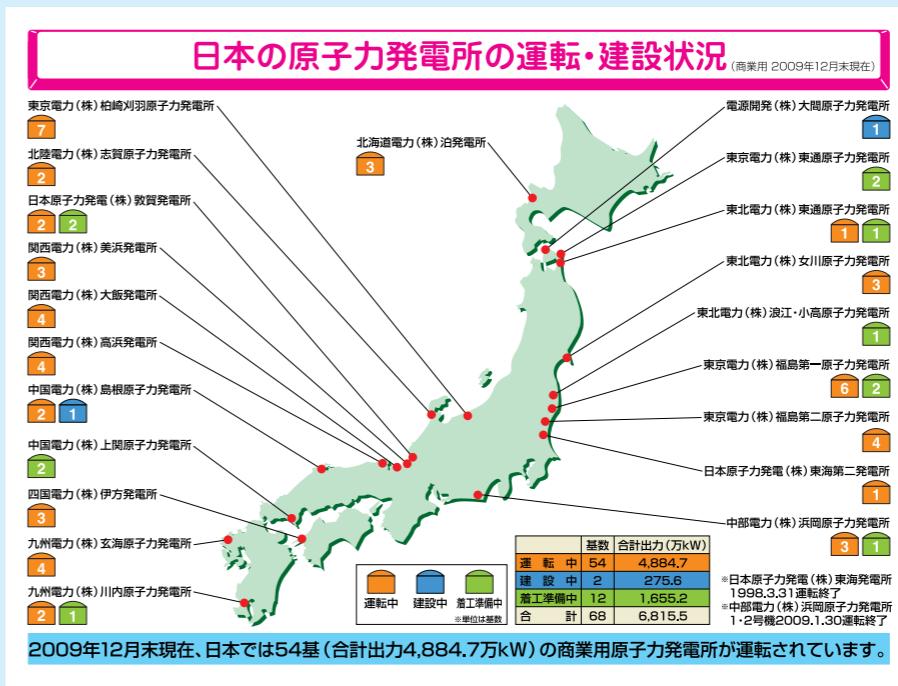
これからも、発電所の出来事などをわかりやすくお知らせするとともに、親しみのもてる情報誌づくりに努めてまいりますので、ご愛読のほど、よろしくお願ひいたします。



創刊号は所長スタッフと使用前検査合格証交付式を紹介しました。

エネルギー 一口メモ 原子力発電所ってどこにあるの?

日本の原子力発電所は北海道から九州まで全国17カ所にあります。昨年12月22日、北海道電力(株)泊発電所3号機が営業運転を開始し、国内で稼動中の商業用原子力発電所は54基となりました。



東北電力の原子力発電所



東通原子力発電所1号機



女川原子力発電所1・2・3号機